

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	山口直美（1・2年複式担任） 齋藤卓弥（3・4年複式担任） 早坂峻（4年 TT） 齋藤咲花（5年担任） 阿部秀憲（教務主任兼特別支援学級担任）

## 1. 単元計画

### 1-1. 単元名

海に親しむ「たっぷり海で遊ぼう・浸ろう」

### 1-2. 学年

全学年

### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活、理科、図工、体育、総合的な学習の時間

### 1-4. 単元の概要

- ・磯の生き物探し … 磯に生息する生き物を探したり捕獲して観察したりする。【生活・理科・総合】
- ・漂流物を使った造形遊び … 流木や貝殻等の漂着物を利用して作品を作る。【図工】
- ・着衣泳体験 … 外部講師を招き、「浮いて待つ」体験や着衣泳体験をする。【体育】
- ・マリンレジャー体験 … シーカヤックやSUPなど、海の遊びを存分に味わう。【体育】

### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は雄勝半島全域が学区であり、学校前には砂浜や磯、近隣には漁港が点在している。地域産業である漁業従事者の他、漁業協同組合や伝統工芸品の雄勝硯組合に従事している方々も多い。また、無形文化財である雄勝法印神楽が浜祭り等で奉納されるなど、震災後も脈々と伝統芸能が継承されている。それら雄勝のよさの中でも特に海にこだわり、海をフィールドにした体験活動を通して、主体的で深い学び（探究活動）へと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育むことをねらいとしている。

### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海をフィールドにした体験活動（遊び）を通して、様々な問いや疑問が生まれ、探究的で深い学びへと発展すると期待できる。
- ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで雄勝を誇りに思う気持ちが醸成され、ふるさとを愛する心情が育まれると期待できる。
- ・身近な海を見る視点や感じる心が育つとともに、行動しようとする意欲の高まりに伴い、雄勝の海との関わりの中で自分が果たせる役割について考えようとする心情が醸成されると期待できる。

1-7. 単元の展開（全23時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 / 外部連携 / 使用教材等
	<b>磯の生き物探し～春～</b>	<b>【活動時期】</b> 4月～5月
2	<p>◇学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
	<b>磯の生き物探し～夏～</b>	<b>【活動時期】</b> 6月～8月
6	<p>◇学校浜の生き物の夏の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
	<b>着衣泳体験</b>	<b>【活動時期】</b> 7月中旬
2	<p>◇体験を通して、水の事故から自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいか気付く。</p> <p>①海の事故と着衣泳の重要性について知る。</p> <p>②水に浮く体験をする。（ライフジャケット無し）</p> <p>③水に浮く体験をする。（ライフジャケット着用）</p> <p>④活動を振り返る。</p>	<p><b>準備</b> ライフジャケット、救急セット</p> <p><b>外部</b> 水難学会指導員、保護者及び地域協力者</p> <p><b>指導</b> 外部講師より海の事故と着衣泳の重要性について説明を受けた上で活動に入る。教員及び活動協力者は、児童の活動補助にあたる。</p> <p><b>評価</b> 水の事故から自分の命を守るために、どのような対処をしたらよいか気付けたか。</p>
	<b>マリンレジャー体験～海のお楽しみ会</b>	<b>【活動時期】</b> 8月下旬～9月上旬
3	<p>◇シーカヤックやSUP、浮き輪等を使って海の遊びに親しんだり、砂遊びを楽しんだりする活動を通して、雄勝の海の美しさや豊かさに気付くことができる。</p> <p>①どんな遊びをしたいか考える。（朝活動を利用）</p> <p>②遊ぶ際の約束を決める。</p> <p>③約束を守って仲良くマリンレジャーを楽しむ。</p> <p>④活動を振り返る。</p>	<p><b>準備</b> シーカヤック、SUP、救急セット その他遊びに必要なもの（児童が用意）</p> <p><b>外部</b> 保護者</p> <p><b>指導</b> 事前にロープとブイで活動エリアを囲い、その中で遊ぶよう伝える。当日は高学年が主体となって遊びの進行を行い、教員及び活動補助者は、児童の安全管理にあたる。</p> <p><b>評価</b> マリンレジャー体験を通して、雄勝の海の美しさや豊かさを気付くことができたか。</p>

4	<p><b>磯の生き物探し～秋～</b></p> <p>◇学校浜の生き物の秋の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 9月～11月</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、薄型水槽、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
2	<p><b>磯の生き物探し～冬～</b></p> <p>◇学校浜の生き物の冬の様子について予想をもち、確かめようとする。</p> <p>◇気温や水温など、季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付く。</p> <p>①生き物の様子について予想を立てる。</p> <p>②磯に行って、生き物調べをする。</p> <p>③活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 12月～2月</p> <p><b>準備</b> ライフジャケット、箱めがね、救急セット</p> <p><b>指導</b> ライフジャケットの着用や海の活動時の約束について確認した上で活動に入る。活動後は怪我の確認も含め振り返りの時間をもつ。</p> <p><b>評価</b> 学校浜の生き物の春の様子について予想をもち、確かめようとしていたか。季節によって生き物の数や様子に違いがあることに気付くことができたか。</p>
4	<p><b>砂や漂流物を使った造形遊び</b></p> <p>◇身の回りにある自然素材を活用し、自由な発想で造形遊びを楽しむことができる。</p> <p>①収集した自然素材から作品のイメージをもつ。</p> <p>②造形遊びに取り組む。</p> <p>③完成した作品を鑑賞し合う。</p> <p>④活動を振り返る。</p>	<p><b>【活動時期】</b> 年間を通して</p> <p><b>準備</b> スコップ、シャベル、バケツ、工作用具など</p> <p><b>指導</b> 生き物探しで収集した素材を活用させる。自由な発想で造形遊びに浸らせ、完成後は互いに鑑賞する時間を確保する。</p> <p><b>評価</b> 身の回りにある自然素材を活用し、自由な発想で造形遊びを楽しむことができたか。</p>

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ



単元 23 時間中の 12、13 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

○ シーカヤックやSUP、浮き輪等を使って海の遊びに親しんだり、砂遊びを楽しんだりする活動を通して、雄勝の海の美しさや豊かさに気付くことができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p><b>1 本日の活動について知る。</b> ライフジャケットを着る。(学校浜へ移動)</p> <p><b>2 活動の約束を確認する。</b></p> <p>① 安全に活動する</p> <p>② 仲良く活動する</p>	<p>※活動前にロープとブイで活動エリアを囲っておく。 監視艇の方と当日の動きを確認しておく。</p> <p>◇これまでと同様に、たてわり班ごとにセーフティーチェックし、教師が最終チェックする。</p> <p>◇約束の確認や遊びの活動の進行など、高学年で役割を分担し進めさせる。</p> <p>◇教師及び活動補助者の役割を確認し配置に就く。</p>
<p><b>【当日の動き】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体指示：体育主任      ・監視艇：活動補助者      ・緊急車両：教頭</li> <li>・安全管理（海中）：男性教諭、教頭      (砂浜)：女性教諭、活動補助者</li> <li>・特別に支援を要する児童対応：支援員 2 名      ・救急：養護教諭</li> </ul>	
<p><b>3 マリンレジャーを楽しむ。</b></p> 	<p>◇シーカヤックとSUPについては、各艇に補助者 1 名が付き支援と安全管理にあたる。</p> <p><u>評</u> シーカヤックやSUP、浮き輪等を使って海の遊びに親しんだり、砂遊びを楽しんだりする活動を通して、雄勝の海の美しさや豊かさに気付くことができる。</p>
<p><b>4 活動を振り返る。</b></p> 	<p>◇活動前の約束が守れたか、怪我の確認と合わせて振り返らせる。</p> <p>◇活動補助者として協力いただいた保護者の方々へ感謝の思いを伝えさせる。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- ◎ 活動の約束を子供たち自身に考えさせることで安全意識の高まりが感じられ、互いに声を掛け合いながら約束を守って活動する姿が見られた。
- ◎ 全員が楽しめるように順番を譲り合ったり、上学年が下学年のお世話をしたりするなど、学年を超えて交流する場面が至るところで見られた。
- ◎ シーカヤックやSUPを初めて体験する児童も多かったが、時間が経つにつれ「浮かぶ」感覚を楽しみながら笑顔を見せていた。また、初めて海水を舐めた児童からは、「しょっぱい」という声も聞かれるなど、五感を使って夏の海を満喫することができた。
- ▲ 遊びに夢中になるにつれ約束への意識が薄くなり、危険への感度が鈍くなる児童も見られはじめた。折に触れ約束を振り返らせ、事故の未然防止に努める必要がある。

### 4. 今後の課題

- ・ 今回、シーカヤック1艇とSUPボード4艇については職員の私物を使用した。次年度以降は、今年度オープンした「雄勝艇庫」と連携しながら、必要な艇数やサポートスタッフの数、活動場所も含め検討していく必要がある。
- ・ コロナ禍において、昨年に引き続き学校前浜をフィールドにした活動が中心であった。感染症対策を講じた上で各地区の港や浜へと活動の幅を広げ、それぞれの特徴に気付かせていきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・ 海での事故は命に直結することから、保護者や地域の方々による活動補助が必須となる。特に、海に入る活動時には、監視艇を含めた監視体制の充実を図る必要がある。
- ・ 本校では、地元の漁業関係の皆様にご了承をいただいた上で学校前浜の活動を行っている。同様の活動をする際には、事前に活動場所（浜、港など）の使用について確認する必要があるので留意してほしい。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。